

しおさい通信

No. 5

平成24年9月号

指定就労継続支援B型事業所 しおさい
三崎：銚子市三崎町 3-82 TEL 23-9012
春日：銚子市春日町 2058-1 TEL 25-3475



納涼会開催



8月23日（木）、銚子プラザホテルを会場にして、恒例の納涼会を開催しました。

今年の銚子は、例年より暑い日が続いているので、暑気払いの「納涼会」を行うには絶好の日となりました。この日も7階のローズルームからは、夏の青空や遠くの積乱雲、そして銚子市街や利根川などがきれいに望めました。

納涼会には、しおさい及びかんらんのメンバー・職員、家族会、しおさいボランティア銚子の64名が参加しました。

会は午前11時半過ぎに開まり、山本施設長のあいさつに続いて会食となり、ふた付きの一段重箱に盛り付けられたホテルの料理を堪能しました。

会食後はビンゴ大会が行われ、進行役が抽選機の数字を読み上げると、あちこちのテーブルから歓声が上がり、進むにつれて“リーチ！”，“ビンゴ！”の声と共に‘景品交換所’に人が集まり、とても盛り上がりました。

続いて行われたカラオケ大会は、約1時間半にわたり演歌から洋楽まで歌われ、普段はわからない“歌声”を聴くことが出来ました。ただ残念だったのは、カラオケ機の具合があまり良くなく、実力が発揮出来ずに心残りになってしまった人がいたことです。

最後は全員で銚子大漁節を踊り、閉会あいさつの後、散会となりましたが、皆さん、夏の日の楽しいひとときを過ごしたようです。

司会やビンゴ、カラオケの進行を担当した方々、お疲れ様でした。



▼▲ カラオケ大会 ▼▲



▼銚子大漁節





ブルーベリー農園見学 ～職員研修～



農園のマスコットキャラクター・きらりちゃん

8月19日（日）、木更津市の特定非営利活動法人一粒舎が運営しているブルーベリーつみとり園のらり・くらり（野楽里・来楽里、木更津市真理谷）へ、職員研修を目的として見学に行ってきました。

一粒舎は、しおさいと同じ指定就労継続支援B型事業所で、心身に障害を持った18歳以上の人の自立支援と社会参加の促進を図る活動をしています。ブルーベリー農園もその事業のひとつで、3年前にオープンしました。

農園は、JR久留里線の馬来田駅から約5km丘陵地帯へ入った山の斜面にあります。ここでは、無農薬栽培と有機肥料、竹チップによって有用微生物を多量に含ませた土にこだわり、専任職員2人と利用者（主に知的障害者）が協力して23品種のブルーベリーの木を栽培し、観光農園（木更津市観光ブルーベリー園協議会会員）を運営しています。また、今年の6月には、敷地内に直売所と喫茶室がオープンし、ブルーベリーの他、手作りジャムやブルーベリー入りマフィンなども販売しています。

研修では、摘み取り体験の後、一粒舎代表の飯田喜代子さんから全体の説明を受けました。しおさいでは、今回の研修で得たことを、今後の事業運営の参考として活かして行きたいと考えております。



▲のらり・くらりの外観



▲クッキーやジャムの販売コーナー



▲地元野菜も販売しています



▲ブルーベリー畑で説明を受けるしおさい一行▲



▲色付いたブルーベリーの实



▲乙女のような笑顔で摘み取り



▲質問をする山本施設長



▲一粒舎代表の飯田さん

編集後記

しおさい三崎では、パン製造という仕事柄、長時間立ったままの作業になります。このため、のどが渇くので、いつでも飲めるように麦茶が用意されていて、仕事の合間に水分補給をしています。そのお陰なのか、この夏の猛暑でも皆さん元気に作業をしています。涼しい秋の訪れはまだ先ですから、もう少しガマンして乗り越えて行きましょう。